

印西大師 番外 泉・真常寺（泉集会所）

- 1 名称 (No.101/202)〔手引鏡：真常寺〕〔資料館：真常寺〕〔行程表：真常寺〕
- 2 場所 印西市泉57-1 泉集会所
円光院から道程約1,900m。前面道路は車が多く歩道がないので車に注意！！
GPS座標 35.81110152577822, 140.12826144466862
- 3 由緒 天台宗
- 4 御堂 外部から大師堂の中は見えない。印西町調査報告書(追録)によると丸彫の御大師様が1体あり台正面に慶応4年(1868年)の銘がある。
- 5 境内 泉集会所があり、その右奥は墓地。入口付近に庚申塔など石像物が並んでいる。
- 6 写真 (2019.06撮影、2022.10撮影)



真常寺（泉集会所）入口



大師堂



大師堂



真常寺（泉集会所）前の道路



真常寺（泉集会所）入口の石造物



泉集会所

7 情報

(1) 新泉寺

平成6年寺院堂庵明細表には、「新泉寺」が西北側57-1にあり、阿弥陀如来を本尊とする、現集会所敷地と記載されてる。場所が同じなので真常寺のことと思われる。宗派も記載されていないので、かなり前に廃寺となっているのかもしれない。

(2) 新泉寺跡の状況について

廃寺跡并建物調査 明治17年(1884年)6月12日

- 一 泉新田新泉寺廃寺跡上地トナリ、其後佐倉藩士族春名道奥払下ケ、同人ヨリ当新田前田市郎兵衛買受当時所有罷在候
- 一 建物ハ売却致シ当時無之候

但本尊仏具等ハ本寺和泉村天台宗泉倉寺へ引渡当時無之候

右四ヶ寺（和泉村円定院、鹿黒村西光寺、泉新田新泉寺、亀成村本覚院）共別段廢寺ノ御指令等無之候
右ハ今般本衙庶第四百五十四号御達ニ付取調候処、前書之通り相違無之候也

明治十七年六月十二日 印旛郡和泉村外五村 戸長 武藤啓三郎

千葉県印旛下埴生南相馬郡長 武藤宗彬 殿（資料センター収蔵 武藤和也家文書）